

## 市長就任及び2月定例記者会見の概要

- 1 日時 令和8年1月29日（木）9時45分～10時20分
- 2 場所 本庁舎3階 第一会議室
- 3 出席者 <報道機関>
  - ① 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
  - ② 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
  - ③ 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
  - ④ 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
  - ⑤ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）
  - ⑥ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）

計 6 社

### < 市側 >

- ・市長・総務部長  
(テレビ会議)
- ・新田副市長・常木副市長・教育長
- ・小高区役所長・鹿島区役所長・復興企画部長
- ・復興企画部政策担当理事・市民生活部長
- ・健康福祉部長・こども未来部長・商工観光部長
- ・商工観光部企業立地担当理事・農林水産部長
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 18 人

- (司会進行) 秘書課長
- (会議記録) 秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

皆さん、お集まりいただき誠にありがとうございます。

このたびの市長選挙におきまして、市民の皆さまから市政運営を託していただき、本日1月29日から、3期目となる南相馬市長として市政を担わせていただくこととなりました。その責任の重さに、身の引き締まる思いであります。

これまでの2期8年では、一つ目「暮らしやすいまちづくり」、二つ目「大局・未来を見た市政運営」、三つ目「市民・事業者・国・県・市が力を合わせる」、この点を心掛けてまいりました。

特に暮らしやすいまちづくりについては、医療・介護・福祉、教育・子育て、産業・経済・雇用、インフラ・交通・防災、さらには人口減少の対応など、健全財政のもとでその実現に向け、努力してまいりました。その結果、子育て世代をはじめ暮らしやすいまちについては、一定の評価を受けるまちとなってきました。

3期目となる今後については、これまでの取り組みを着実に前に進めるとともに、新たに芽生えてきたロボット・ドローンに次ぐロケットなどの宇宙産業の振興、南相馬鹿島サービスエリアをはじめとする地域資源を活用した地域振興なども形にして参りたいと思っています。

安心に、そしてより楽しく暮らせるまちを目指すとともに、市民がふるさとに自信を取り戻す、誇りを持てるまちを目指してまいります。

こうした目標に向け、未来へつなぐ、市民をつなぐ、市民一人一人に寄り添う、そして、果敢に挑む姿勢で、市政運営に取り組んでまいります。

皆様方のご理解・ご支援をお願いいたします。

それでは市政報告に入ってまいります。

前回1月6日の記者会見から最近までの出来事について報告いたします。

はじめに、二十歳を祝う会についてです。

1月11日に二十歳を祝う会を開催し、336人の方にご参加いただきました。企画・運営に尽力してくださった運営委員の皆さん、誠に有難うございました。

二十歳を迎えられた皆さんの今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、物価高対策についてです。

昨年12月に開催された第5回南相馬市議会定例会において、「国の総合経済対策に伴う緊急的対応」に関する補正予算案を可決いただきました。

このうち、「物価高対応子育て応援手当」については、本市で児童手当を受給されている方へ、本日、1月29日に支給いたしました。

また、市民1人あたり5千円、あるいは1万円分の商品券をお配りする「事業者支援・市民生活応援事業」については、1月15日に実行委員会が開催され、3月15日から商品券を利用できるように準備を進めると聞いています。

さらに、最低賃金引き上げに伴い県の助成金に市独自の支援金を追加支給する「中小企業賃上げ緊急一時金支援事業」については、3月中旬から申請受付を開始する予定です。

市民の皆さまに安心して暮らしていただけるよう、速やかに実施してまいります。

次に、相馬野馬追の観覧チケットの販売についてです。

2月2日から令和8年度の販売を開始いたします。

今年は、市民の皆様によくご観覧いただきと考え、相馬野馬追事務局の窓口のみの先行販売を行います。その後、9日からは市町村窓口やコンビニエンスストア、ウェブサイトでも販売いたします。

従来 of 行列観覧席5000円に加え、本陣山の最前列で、椅子席でご覧いただける特別席1席8千円を1004席、また、競馬走路のすぐそばのエリアでご覧いただける「砂かぶり席」1席1万円を180席準備しました。

ぜひ多くの方々にご覧いただきたいと思います。

**【質疑応答】**

**質問 1 :**

3期目に向けた抱負をお聞かせください。

**回答 1 : 市長**

これまでの2期で形になりつつ取り組みや、2期目で開始した取り組みを、3期目でさらに着実なものにしたいというのが、基本的な考え方です。具体的には「100年のまちづくり～家族や友人とともに暮らすまち～」をしっかりと継続していきます。特にこの「暮らす」という観点では、公約に掲げた68項目の実現に向けて、医療・介護・福祉、教育・子育てなど多岐にわたる分野に取り組んでまいります。

加えて、新たな取り組みとして、例えば宇宙産業の推進や南相馬鹿島サービスエリアをはじめとする地域資源の活用も進めたいと考えています。

こうした取り組みにおいては、暮らしやすく、安心して、安全に、そしてより楽しく暮らせるまちを目指します。また、市民が南相馬への誇りを持てるようなまちづくりも大切にしたいと思います。3期目の重責を改めて感じつつ、責任を全うできるよう尽力してまいります。

**質問 2 :**

3期目の市長任期が復興創生期間の第3期と重なります。在任期間中、復興・創生についてどのような心構えをお持ちですか。また、国や県への要望があれば教えてください。

**回答 2 : 市長**

今年は節目の年にあたり、震災から15年、避難地域の解除から10年を迎えます。これまでの復興を確かなものにする重要な4年間と考えております。また、合併から20年ということで、合併の効果を市民の皆様にご覧いただくことも必要と考えます。

こうした背景の中で、基本的な考えとしては「暮らしやすいまち」を目指して、未来を見据えた取り組みを進めていくことが重要だと思っています。また、第3期復興・創生期間が終わりに近づいているので、国や県と連携しながら支援をしっかりと取り付けていきたいと考えています。

**質問 3 :**

冒頭の「復興が一步一步進んでいる」という発言についてですが、具体的にはどのようなところを指しているのでしょうか。

**回答 3 : 市長**

震災後、まずは壊れたものを直すことから始めました。防波堤を修築し、かさ上げを行い、災害公営住宅の建設や除染活動などを行いました。この段階で、復興が一步進んだと認識しています。

次に、地域住民が安心して暮らせる環境を整えることに取り組まれました。医療・介護施設の再開、待機児童の解消、学校の復旧など、日常生活を回復するための施

策を進めました。これらにより、暮らしに必要な環境に向けて一歩進んだと捉えています。

そのうえで、より安心して豊かに暮らせるまちづくりが必要だと思います。子育て分野においては、無料化をはじめとして、子育て環境が他よりもより良いことを心掛けてきました。

ただし、物価高や避難者への対応など、まだ課題はあります。こうした実情を踏まえて「一歩一歩進んでいる」という表現を使いました。

**質問 4 :**

震災から15年が経過しました。市が抱える復興の課題は何だとお考えですか。

**回答 4 : 市長**

避難が長期に及んでいること、「これで安心して暮らせる」という区切りが見えないというのが原発事故の大きな特徴です。このような背景が若い世代や子どもの減少につながっています。高齢者を支える上でも、市民生活のために働く人たちが必要です。また、若い世代が少ない状況は、将来の展望を見出しづらい要因にもなります。この状態を改善したいと思います。

**質問 5 :**

南相馬市は津波による犠牲者や災害関連死の方を含めると、県内で最も多い犠牲者が出ています。残された方々への心のケアについて、今後どう対応される考えでしょうか。

**回答 5 : 市長**

ハード面の防災対策については、被害を最小限に抑えられる対策を一定程度整えてきました。ただし、ハード面を整えただけでは解決できない部分もあります。避難生活の長期化が災害関連死の一因となったことは非常に残念であり、二度と繰り返してはならないと思います。避難所の改善などを進めていきます。

**質問 6 :**

3月11日の追悼式は、昨年までと同じ形式で実施されますか。

**回答 6 : 市長**

追悼式は当面の間継続し、少なくとも私の任期中は続ける考えです。本市はいまだ2,000人を超える方が避難しており、復興が完了したとは言い難いと感じています。

震災から15年という節目を迎える今年は、記念式典も検討しています。詳細については今後の予算案でお示しする予定です。

**質問 7 :**

衆議院選挙が告示されました。選ばれた国会議員には、どのような働きぶりを期待しますか。

**回答 7 : 市長**

国民が豊かに暮らせるよう、尽力していただきたいと思います。特に福島の場合は、原発事故からの復興という重要な課題があります。住民の声をしっかりと受け

止めて行動してほしいと期待しています。

**質問 8 :**

市長選挙の期間中や本日のご発言にも、宇宙産業に関する発言がありましたが、市民から話を聞くと、市民の理解がまだ十分ではないように感じます。改めてその効果について教えてください。

**回答 8 : 市長**

宇宙産業による効果は大きく 2 点あります。まず、地元企業と連携した新しい事業の展開や雇用の算出が期待できます。南相馬は産業が集積しており、宇宙産業の可能性が広がられます。

もう一つは、未来を切り開く取り組みがこの南相馬の地で始まるという期待感を通じて、市民が誇りや自信を持つことができるという面です。

一方で、こうした取り組みをいかに市民の皆さんに理解していただくかはとても重要です。そのためにも市民との情報共有や双方向の対話を大切にしていきたいと思えます。行政だけではなかなか難しい面がありますので、メディアの皆様の力をお借りしたいと考えています。

**質問 9 :**

野馬追のチケット発売開始に対する考えをお伺いできればと思います。

**回答 9 : 市長**

相馬野馬追について、世界に誇れる馬事文化の行事を見ていただきたい一方で、文化を継承するため費用がかかるという側面があります。良いものをお見せして、それを維持していくため、ご寄付いただくという考えが近いと思えます。

また、地元の皆さんには相馬野馬追を支えていただいていますので、地元の方に見ていただくための費用感も難しいところです。いかに来場者に喜んでもらい、地元の皆さんに支えていただくか、その両立を考えています。

**質問 10 :**

相馬野馬追の女性騎馬武者に関する出場条件が昨年撤廃されました。今後は、女性の方が役職に登用されるかどうかの一つの試金石になるのではないかと考えます。人権条例や男女平等の観点から、女性が役職に就いていくことについてどのような考えをお持ちでしょうか。

**回答 10 : 市長**

正式な決定はこれからですが、女性騎馬武者の出場条件撤廃後の状況や、変更後の日程が順調に継続されるかを見込んでいます。役付きの問題などは、時間の経過とともに議論が進み、考えがまとまっていくと思えます。当面は、中心になって動いていただいている騎馬会の動向を見守る段階と捉えています。

以上